

エコアクション2.1

環境経営レポート



No SUBARU,
No LIFE
In Hokkaido!!



2023年度版（対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日）

北海道スバル株式会社

2024年7月29日発行

【目次】

	ページ
【1】 組織の概要	2
【2】 対象範囲及び適用事業所一覧	3
【3】 EA21 推進組織図及び EMS 推進責任権限表	4
【4】 環境経営方針	5
【5】 2023 年度取り組み目標	6
【6】 2023 年度環境活動の実績と評価	8
【7】 環境関連法規及び違反・訴訟の有無	1 1
【8】 2024 年度の環境活動の目標	1 2
【9】 代表者による全体の評価および総括	1 7

【1】組織の概要

1. 北海道スバル株式会社の概要

会社名 : 北海道スバル株式会社
所在地 : 〒063-0062 北海道札幌市西区西町南 14 丁目 1 番 1 号
代表者 : 代表取締役社長 中村 亜人
担当者 : 環境管理責任者 管理本部長兼総務部長 品野 貴雄
: 環境管理副責任 総務部副部長 増子 徹
: EA21 推進事務局担当 総務部総務課課長 小野田 博之
佐藤 智也
中田 圭一

連絡先 : TEL 011-668-2122 / FAX 011-664-5602

U R L : <http://www.hokkaido-subaru.com/>

事業内容

1. 自動車、自動車関連部品及び付属品並びにそれらの関連物品の販売、修理、加工
2. 自動車のリース及びレンタル業
3. 中古自動車の売買及び修理
4. 油脂類の販売
5. 電気製品、各種レジヤ用品、事務機器、衣料品、文具及び雑貨等の各種物品の販売
6. 損害保険代理業及び自動車損害賠償責任保険代理業並びに生命保険募集業
7. 農業協同組合法（昭和22年法律第132号）に基づく共済代理店業
8. 不動産の賃貸及び管理
9. 前各号に附帯又は関連する一切の事業

事業規模

① 年間売上高（2023年度）	18,960,293 千円
② 新車販売台数（2023年度）	3,358 台
③ 中古車販売台数（2023年度）	2,509 台
④ 従業員数（2024年3月現在）	448 名 (パート・嘱託含む)
⑤ 店舗数	
・新車店舗	19 店
・中古車専売店舗	4 店
・钣金塗装（BP）工場	3 店
・部品センター・PDI 整備センター	2 店
合計	28 店

【2】対象範囲及び適用事業所一覧

1. 対象範囲

- ・ 新車及び中古車の販売
- ・ 自動車の点検・整備・钣金塗装
- ・ 自動車部品・用品の販売
- ・ 損害保険代理店業務
- ・ 自動車リース業

2. 適用事業所一覧

事業所名		住 所	電話番号	従業員数	組織区分
1	本社 (3F 事務所)	札幌市西区西町南 14 丁目 1 番 1 号	011-668-2111	49	A
2	札幌西店 B Pセンター本社	札幌市西区西町南 14 丁目 1 番 1 号	011-668-2210	42	E
3	羊ヶ丘通清田店 部品センター	札幌市清田区真栄 58 番 1	011-699-7180 011-699-7180	33	C+F
4	厚別店	札幌市厚別区厚別東 5 条 8 丁目 6 番 6 号	011-898-7171	16	C
5	カースポット厚別	札幌市厚別区厚別東 5 条 7 丁目 1 番 25 号	011-898-5775	3	B
6	札幌東店	札幌市東区東苗穂 4 条 3 丁目 2 番 92 号	011-783-5111	12	C
7	新千歳店 カースポット新千歳 新千歳 PDI 整備セ ンター	千歳市北信濃 782 番 2	0123-25-8521 0123-25-8531	26	C
8	白石店 法人営業課 B Pセンター白石	札幌市白石区中央 1 条 1 丁目 1 番 25 号	011-818-3755 011-818-3755	30	E
9	月寒店	札幌市豊平区月寒中央通 11 丁目 1 番 10 号	011-852-4125	18	C
10	札幌北店	札幌市東区北 35 条東 1 丁目 5 番 1 号	011-721-5040	23	C
11	札幌南店	札幌市中央区南 30 条西 10 丁目 2 番 22 号	011-211-5516	17	C
12	小樽店	小樽市入船 2 丁目 1 番 3 号	0134-29-1565	12	C
13	岩見沢店	岩見沢市大和 2 条 7 丁目 6 番地	0126-22-0526	13	C
14	G - P A R K札幌	札幌市西区西町北 15 丁目 1 番 15 号	011-669-4555	4	B
15	室蘭店	室蘭市寿町 3 丁目 20 番 4 号	0143-44-5111	17	C
16	苫小牧店	苫小牧市明野新町 2 丁目 2 番 12 号	0144-55-4572	20	C
17	函館北浜店 B Pセンター北浜	函館市北浜町 4 番 20 号	0138-40-1010 0138-40-1116	24	E
18	函館神山店	函館市中道 2 丁目 53 番 7 号	0138-53-6894	11	C
19	旭川北彩都店	旭川市宮前 1 条 2 丁目 5 番 5 号	0166-76-1955	27	C
20	名寄店	名寄市字徳田 114 番地 27	01654-2-2493	4	C
21	北見店	北見市小泉 426 番地 4	0157-24-8911	14	C
22	滝川店	滝川市黄金町東 3 丁目 2 番 4 号	0125-24-6171	9	C
23	G - P A R K旭川	旭川市永山 2 条 12 丁目 1 番 16 号	0166-40-0000	12	C

注) 1. 組織区分の意味

A = オフィス業務 (事務所業務)

B = オフィス業務 + 自動車販売 (新車、中古車)

C = オフィス業務 + 自動車販売 (新車、中古車) + 整備業務

D = オフィス業務 + 自動車販売 (新車、中古車) + 钣金塗装業務

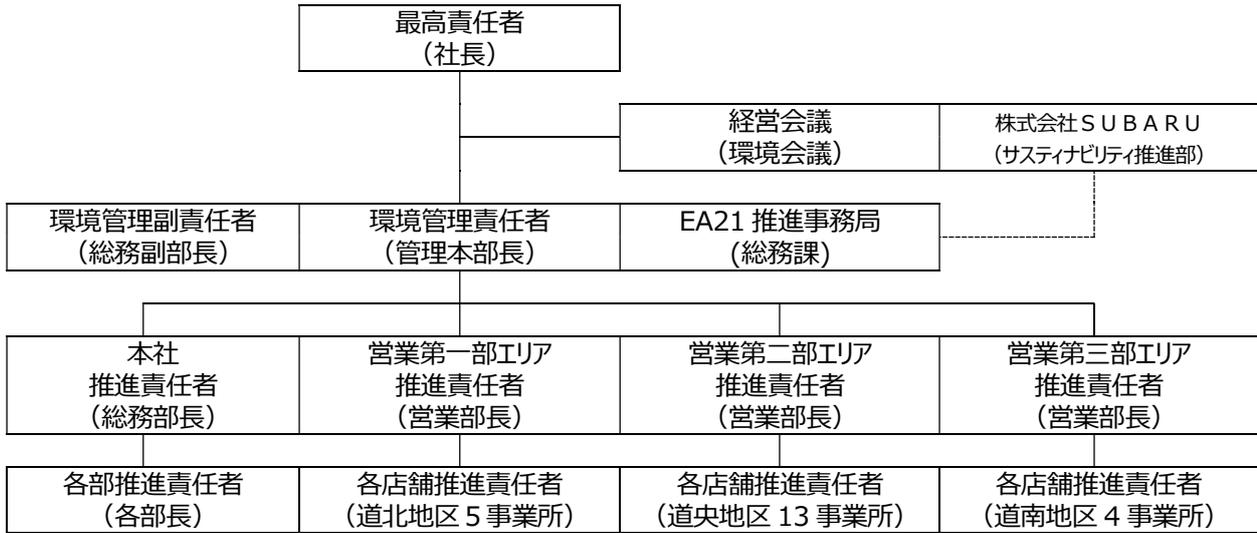
E = オフィス業務 + 自動車販売 (新車、中古車) + 整備業務 + 钣金塗装業務

F = オフィス業務 + 物流販売業務

2. 従業員数は2024年3月31日現在

【3】 E A 2 1 推進組織図及び E M S 推進責任権限表

● EA21 推進組織図



● E M S 推進責任権限表

担当者	役割・責任及び権限
最高責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針を定める。また必要に応じ見直す ・EMS の見直し（マネジメントレビュー）を行う ・要員（人材）、設備、資金等の資源を経営上対応可能な範囲で用意する ・環境管理責任者を任命する
環境管理責任者 環境管理副責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・本業の業務とは関わりなく、E M S を確立・実施・維持する責任と権限を有する ・環境方針に沿って全社環境目標（中期と当該年度）を策定する ・「環境関連法規制等一覧表」を作成し、最新状態を維持する ・環境マニュアル、手順書、帳票等の文書を維持管理する ・緊急事態の訓練を計画し、実施する（部門の実施を推進する） ・環境に関する行政機関対応の責任者（法規制対応も含む） ・マネジメントレビューの報告情報を取り纏め報告する
EA21 推進事務局 ※「事務局」と呼称・表記する。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者を補佐し、EMS の確立・実施・維持全般に関する事務局業務を行う ・環境マニュアル・手順書・帳票等の見直し、最新版管理 ・各部門との調整、情報の伝達 ・全社 EMS の進捗管理、審査対応窓口（外部との調整を含む） ・マネジメントレビューの情報収集・整理 ・EMS の推進にかかわる内部外部との連絡窓口
各エリア推進責任者 ※「エリア責任者」と呼称・表記する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各エリア（EA21 の 1 ～ 3 エリア）内部を統率し環境活動を指揮する
各部・各店舗推進責任者 ※「推進責任者」と呼称・表記する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各部・各店舗の環境活動を推進する
一般従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動の重要性を自覚し、必要な環境教育訓練を受け、環境方針・環境目標・環境活動実施計画書に基づいて、日常の環境活動に取り組む
内部監査員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの有効性や、環境活動が適正に運用されているかを検証する

【4】環境経営方針

《基本理念》

私たちの住むまちは、雄大な北海道の自然豊かな環境にあり次世代まで続くよう車両や関連部品の販売、車両整備等の事業活動を行い、環境保全に貢献するとともに地球環境負荷の低減に積極的に取り組めます。

《基本方針》

この理念のもと、当社が行う事業活動が環境に与える影響を考慮し、以下の環境保全活動を推進し、継続的改善を図ります。

1. 我々が関わる自動車産業は、環境への負荷が大きいとの認識に立ち、本業にリンクした具体的な環境活動として、アイサイト装着車販売、エコカー販売、車検カバー率、点検在庫率、エコタイヤ販売、などを推進します。
2. 店舗の建て替えやリニューアルも積極的に行い、お客様が来店しやすい環境づくり、従業員が働きやすい店舗づくりを行うと同時に、環境配慮商品とサービスの充実を通じて、経営理念「安心と愉しさを社会に提供する」の実現を目指します。
3. 行政、ステークホルダー等からの環境関連の法規制・規則・協定などを順守します。
4. 廃棄物の削減及びリサイクルを促進し、省資源・省エネルギー化を図り、またそれら環境に配慮した事業活動に取り組むことで地球温暖化、資源枯渇、環境汚染の低減及び環境保護に努めます。
5. 当社の事業活動を継続する上で、発生しうる納期遅延・クレームに起因するエネルギーロスの削減を推進します。
6. 全従業員に対し、この環境経営方針を周知し、環境意識向上のため、啓蒙活動を継続的に行います。

2021年9月1日
北海道スバル株式会社
代表取締役社長 中村 亜人

【5】2023年度の環境活動の目標

1. 環境経営方針に沿った取り組みを実施する。

環境経営方針の各項目の具体的な取り組みは以下の通りです。

(1) 我々が関わる自動車産業は、環境への負荷が大きいとの認識に立ち、本業にリンクした具体的な環境活動として、アイサイト装着車販売、エコカー販売、車検カバー率、点検在庫率、エコタイヤ販売、などを推進します。

(2) 店舗の建て替えやリニューアルも積極的に行い、お客様が来店しやすい環境づくり、従業員が働きやすい店舗づくりを行うと同時に、環境配慮商品とサービスの充実を通じて、経営理念「安心とゆしさを社会に提供する」の実現を目指します。

(3) 行政、ステークホルダー等からの環境関連の法規制・規則・協定などを順守します。

(4) 廃棄物の削減及びリサイクルを促進し、省資源・省エネルギー化を図り、またそれら環境に配慮した事業活動に取り組むことで地球温暖化、資源枯渇、環境汚染の低減及び環境保行政、ステークホルダー等からの環境関連の法規制・規則・協定などを順守します。

(5) 当社の事業活動を継続する上で、発生しうる納期遅延・クレームに起因するエネルギーロスの削減を推進します。

(6) 全従業員に対し、この環境経営方針を周知し、環境意識向上のため、啓蒙活動を継続的に行います。

2. 数値目標を達成するための取組項目

- ① 電気使用量削減
- ② 燃料使用量削減
- ③ 水使用量削減
- ④ 廃棄物量削減
- ⑤ 紙使用量削減

3. 各店舗の独自の取組

年度の初めに各店舗毎にエコアクションに関連する独自の取組を決めています。

【6】2023年度環境活動の実績と評価

1. 全体的な数値実績 (2023年4月から2024年3月)

項目	単位	2023年度目標・実績			
		目標	年間目標	実績	削減目標達成率
電気使用量	kWh		2,068,836	2,080,442	99.4%
燃料	ガソリン	L	239,394	182,735	131.0%
	灯油	L	154,747	165,157	93.7%
	軽油	L	98,167	95,253	103.1%
	LPG	kg	45,694	52,775	86.6%
	都市ガス	m ³	399,468	381,864	104.6%
二酸化炭素排出量※1	Kg-CO ₂	各種エネルギー、廃棄物等の前年度実績に対し1%減を目標とする	3,381,639	3,305,031	102.3%
水使用量	m ³		15,270	14,367	106.3%
廃棄物排出量(産廃及び一廃)※2	t		1,053	458	230.0%
紙(北°紙)使用量	kg		18,327	15,339	119.5%
化学物質使用量※3	PRTR法に該当する製品とその使用量を把握する				
環境関連法の遵守	各種環境法規制の遵守、必要な届出・報告の実施など				
社会貢献 環境保全活動の推進	会社敷地周辺及び道路の定期的な清掃を実施				
環境教育の実施	教育計画に基づく、社員への環境教育の実施				
環境配慮商品の導入促進	事務用品の購入、OA機器・設備入替等の際は環境配慮商品の優先導入を検討する				
環境負荷低減の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> * アイサイト (スマートアシスト) 装着車の拡販 * ハイブリッド車(e-Boxer)の拡販 * 点検パック付保車の100%入庫 				

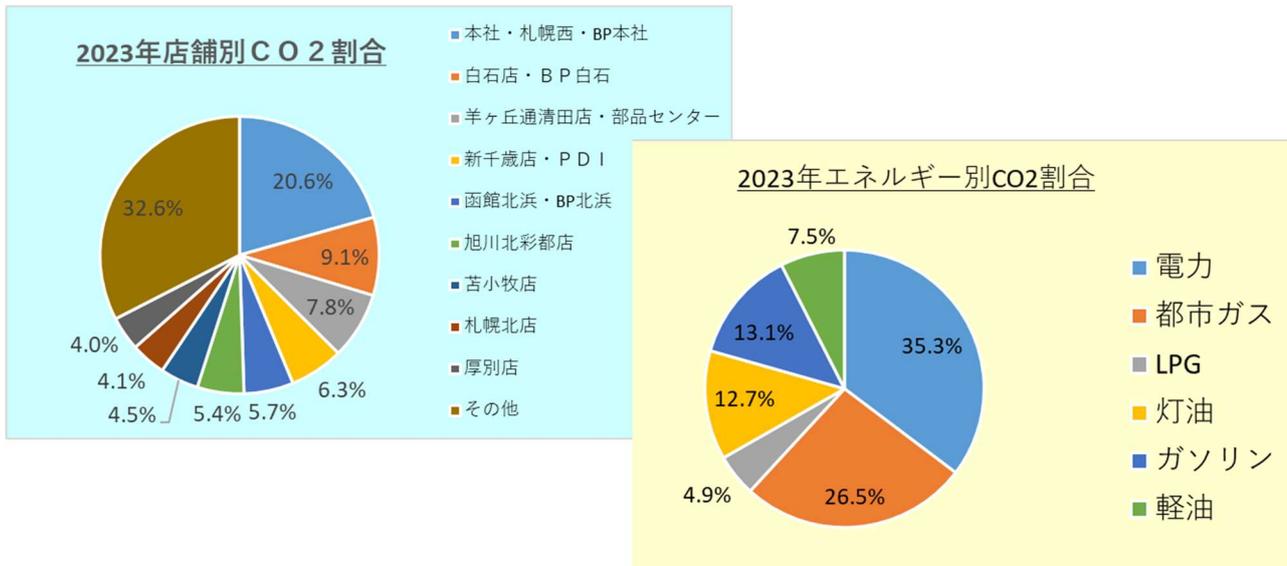
※1 電気使用による二酸化炭素排出係数は0.549kg-CO₂/kWh(北海道電力/2021年度)を使用

※2 一般ゴミ、廃棄物排出量は2023年度実績より有価物の排出量を除く(目標は含む)

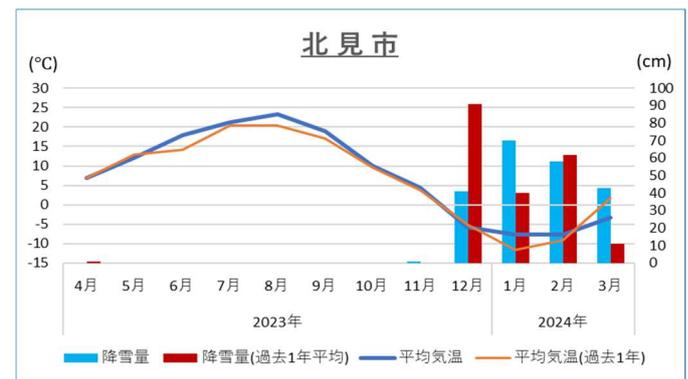
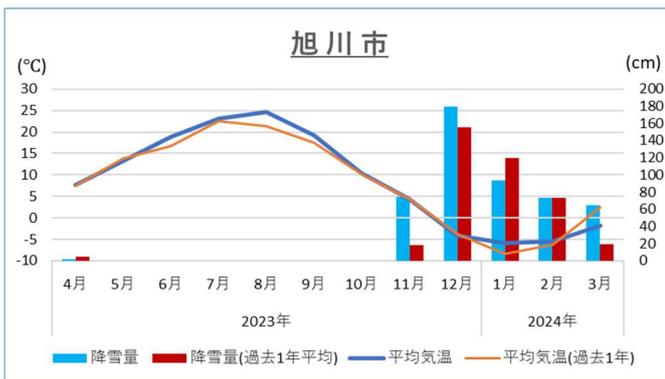
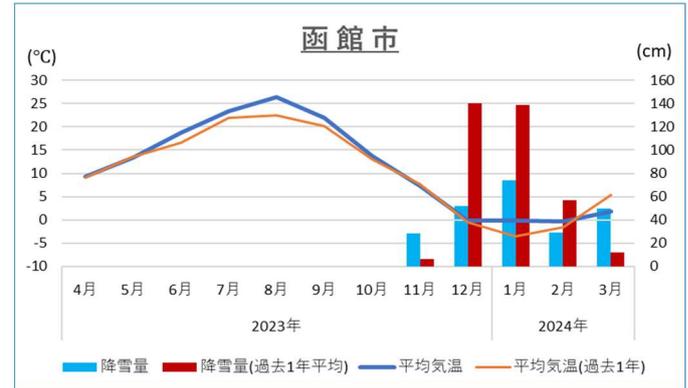
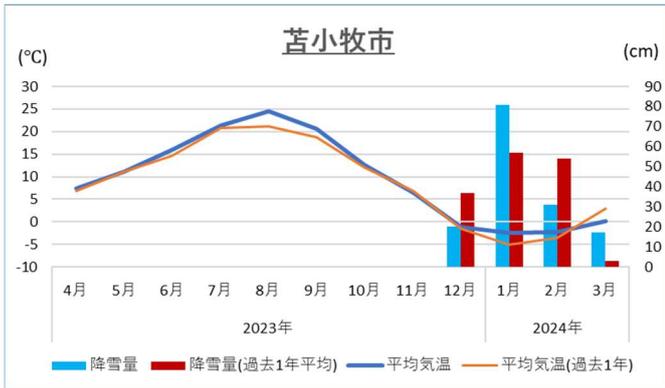
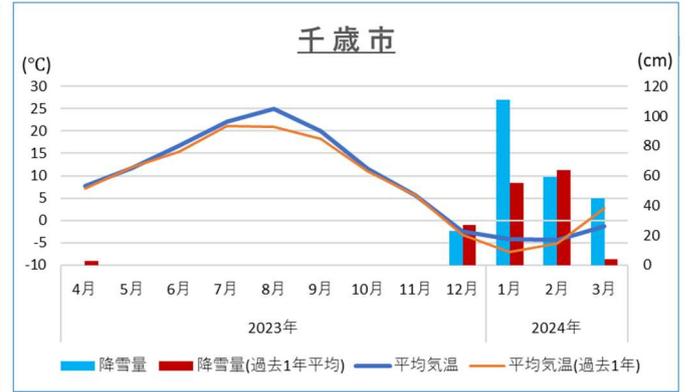
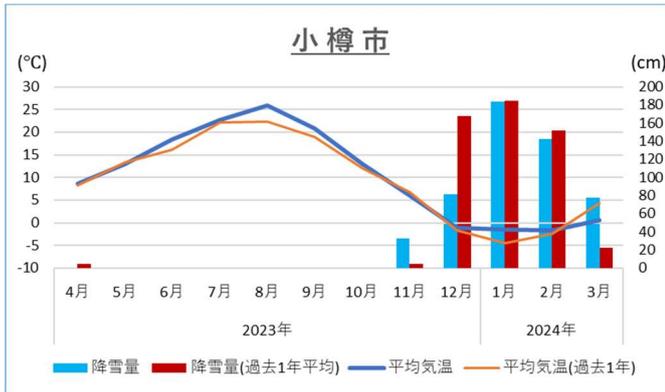
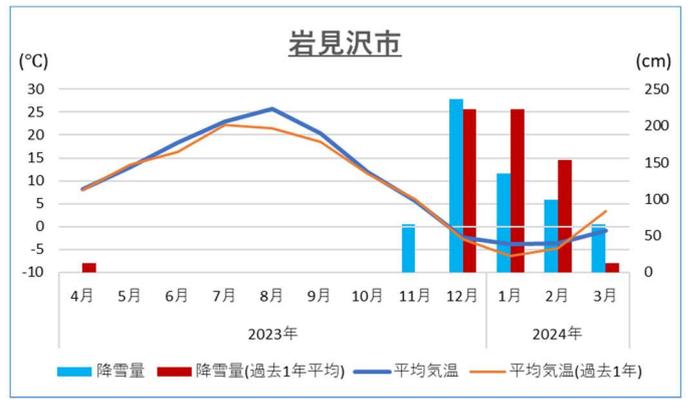
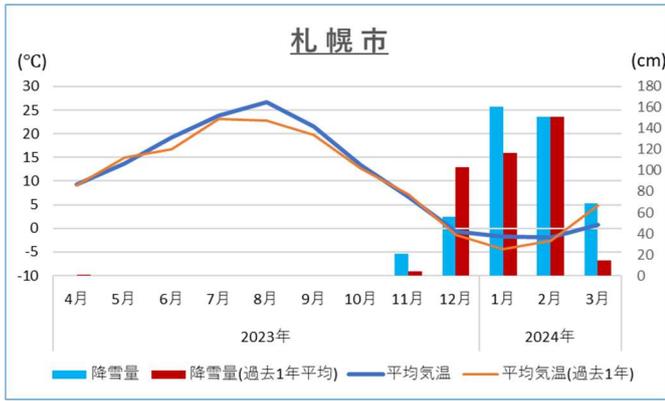
※3 化学物質については、塗料は既に水性塗料100%であり、事業環境上これ以上の削減が難しいことから、削減目標値の設定は行わず、使用量の把握と管理を継続して行うこととする

1. 項目ごとの結果と評価 (2023 年度)

(1) エネルギー



- ・CO2 排出量から各種エネルギーの占める割合を見ると、2023 年度も電力と都市ガス、LPG が全体の 72%を占め、残りはガソリン、軽油、灯油による CO2 の排出となっています。
- ・店舗別の CO2 排出量を見ると、本社(札幌西店・BP センター・本社事務所)が 20.6%と最も大きく、次いで白石店・BP センター白石・法人営業課、羊ヶ丘通清田店・部品センター、新千歳店・新千歳 PDI 重整備センターと複合型店舗が続いており、これらの店舗で全体の 43.8%を占める構成となっています。
 - ① 電力はほぼ前年より使用量を減らしていますが、目標に対して若干未達となる結果となりました。本社・札幌西店・BP 本社、苫小牧店、札幌北店、札幌南店の他に G - P A R K 札幌で比較的大きく削減する結果となっています。本社・札幌西店・BP 本社は冬期間、その他の 4 店舗では年間を通して電気使用量が減少しています。
 - ② 都市ガスは前年比、削減目標共に達成する事が出来ました。札幌西店・BP センター本社・本社事務所、厚別店および羊ヶ丘通清田店・部品センターの各店舗が主に冬期間の使用量を削減した事が削減目標の達成に繋がったものと思われます。
 - ③ プロパンガスは削減目標をクリアする事ができませんでした。BP センターを併設している店舗において使用量が増加しており在庫量の増加が影響したものと思われます。
 - ④ ガソリン使用量は 2023 年も全店舗において使用量を削減する事が出来ました。CO2 排出量の削減と同時にお客様への丁寧なフォロー、働き方改革にも繋がっていると思われます。
 - ⑤ 軽油も全社的に使用量が減少傾向にあり前年比、目標比ともにクリアする事ができました。本社・札幌西店・BP センター本社のみ板金作業に伴う店舗間の車両配送の増加に伴い使用量が増えています。より効率的な配送に努めて行きます。
 - ⑥ 灯油は目標を達成できませんでした。店舗およびサービス工場の暖房、スチーム洗車機などに使用しており、これらの使用量が増加したものと思われます。
 - ⑦ 22 店舗の内、17 店舗が CO2 削減目標をクリアする事ができ、全社合計での削減目標の達成に繋がりました。(前年比 96.76%)
 - ⑧ エネルギー別に CO2 の削減量を見るとガソリンの削減量が最も大きく、次いで都市ガス、軽油、電力の順となりました。
- ・2023 年 4 月～2024 年 3 月の気温の推移を見ると、8 月と 1 月の気温が前年より高くなっています。また 1 月の積雪量が札幌市、千歳市、苫小牧市で前年を大きく上回っています。函館市では積雪が前年より少なくなっています。これら気温、積雪量の変化は空調に伴う電力・都市ガス、除雪作業のタイヤショベルの燃料消費量に影響があります。



(2) 水(投入量)、紙(コピー紙) 使用量および廃棄物

- ①水の投入量については、全社合計で目標・前年実績を下回る事ができました。また紙(コピー紙)はA4・A5が目標比・前年比共に下回っているものの、A3が若干増加しています。
- ②産業廃棄物は今年度実績より有価物を集計より除き集計することとなりましたので、今年度の目標値前年比は参考値となっております。

3. 環境に関する主な取り組み

(ア) 環境関連法規の遵守

- ・法令、法規制に対する違反はありませんでした。(次ページ【6】環境関連法規及び違反・訴訟の有無参照)

(イ) 社会貢献環境保全活動の推進

- ・毎年「交通安全人の波運動」に参加しており、今後も継続して行きます。また店舗周辺の清掃も継続して行ってまいります。



- ・「環境保全活動への取り組み」として知床財団様とパートナーシップを結び、植林活動への協力、弊社での講演会を実施致しました。



- ・ライフセービング協会様の献身的な活動に共感し、ライフセーバーカーを提供しております。
- ・社員の子供たちを対象にした「ちびっこ車の塗装体験」を開催。簡単なマスキング・調色・塗装作業を体験してもらいましたが、参加した子供たちにとっても喜んでもらうことが出来ました。



(ウ) 環境教育の実施

- ・新入社員および中途入社社員を対象に導入教育を実施し致しました。2023年1月に店長、サービス課長を対象に「産業廃棄物適正管理能力検定(入門編)」を受講、検定試験にも受講者全員が合格、9月には苫小牧店において「省エネ診断」を実施。結果を他の店舗へも展開しています。また2024年3月には事務局スタッフが札幌市による「省エネセミナー」をオンラインで受講しています。

(エ) 業務効率化による環境負荷低減

適切なマネージメントによる労働時間管理とサービスの品質を保つためにスタッフのスキルアップが欠かせません。セールス、サービスそれぞれの部門で社内資格の取得に向けた教育、技術



講習に加えセールスコンテスト、技能コンクールを実施しております。また 2023 年 7 月から全店舗にて「電子マニフェスト」を導入。現在は全ての産業廃棄物について「電子マニフェスト」の運用を行っています。これに伴い紙マニフェストの不備によるコンプライアンスリスクの低減、発行と保管に伴う管理工数の削減に繋がっています。

(オ) 内部監査の実施

2023 年度も監査室による内部監査を全店舗実施。チェックリストに従い環境関連のコンプライアンス順守状況を確認しています。

【7】 環境関連法規及び違反・訴訟の有無

1. 適用される主な環境法規等

主な適用法規	要求事項
水質汚濁防止法	特定施設（自動車自動洗浄装置）の届出
下水道法	排水設備（油水分離槽）の設置、 特定施設（自動車自動洗浄装置）の届出、 水質検査（油水分離槽）の実施
騒音規制法	特定施設（コンプレッサー）の届出、規制基準の遵守
振動規制法	特定施設（コンプレッサー）の届出、規制基準の遵守
廃棄物処理法	保管基準、委託基準の遵守、許可業者への処理委託、 適正な委託契約の実施、マニフェストの適正運用管理、 マニフェスト交付状況の年度報告、排出事業者による 最終処分場の現地確認
消防法	貯蔵数量の遵守、定期の消防設備点検・報告、 防火管理者の選任、緊急事態対応訓練の実施
自動車リサイクル法	引取業者登録（更新）、使用済自動車の適正処理
家電リサイクル法	対象となる製品を排出する際は適切に引き渡し、料金を 支払う
北海道及び市町村環境保全条例	騒音・振動に係る特定施設の届出（上乗せ基準）、 事故（発生時）の届出、排出事業者による最終処分場 の現地確認等
フロン排出抑制法	業務用エアコン等の点検

2. 違反、訴訟等の有無

当社における環境関連法規への違反はありません。また、関係当局からの重大な違反等の指摘は、過去 3 年間ありません。

【8】2024年度の環境活動の目標

1. 環境経営方針に沿った取り組みの実施

2023年度の「環境経営方針」を継続していきます。

(1) 我々が関わる自動車産業は、環境への負荷が大きいとの認識に立ち、本業にリンクした具体的な環境活動として、アイサイト装着車販売、エコカー販売、車検カバー率、点検入庫率、エコタイヤ販売、などを推進します。

・カーボンニュートラルへの取り組みが加速する中、北海道スバルも社会の一員として、SUBARUグループの一員として積極的に取り組んでいきます。

・北海道では都市間の距離が長く、車は重要な移動手段となります。

アイサイトによる事故の低減、車検・点検を通じてお客様のお車のコンディションを保つことは「安心と楽しさ」の提供と共に環境面でも大きな意味を持つことを改めて認識し業務に生かします。

・サービス部品部を中心に車検・点検等の入庫の促進および1か月前予約による入庫量の平準化により残業削減・水道光熱費の削減と共にワークライフバランスの充実を目指します。



(2) 店舗の建て替えやリニューアルも積極的に行い、お客様が来店しやすい環境づくり、従業員が働きやすい店舗づくりを行うと同時に、環境配慮商品とサービスの充実を通じて、経営理念「安心と楽しさを社会に提供する」の実現を目指します。

・空調設備、消防設備等の定期点検など店舗設備の適切な保守点検を行うとともに設備を更新する際は、環境性能の良い設備を選択する事で環境負荷の低減、経費の削減に繋げていきます。

・廃棄物の適切な分別・リサイクルに取組み環境負荷の低減に繋がりたいと思います。

・例年通り「交通安全人の波運動」「チャレンジ・セーフティーラリー北海道 2024」への参加、ライフセービング協会様へのライフセーバーカーの提供、道内各地域のイベント会場でのアイサイト装着車のブリクラッシュブレーキ（衝突被害軽減ブレーキ）体験試乗会の実施等を予定しています。



(3) 行政、ステークホルダー等からの環境関連の法規制・規則・協定などを順守します。

・環境関連法規の遵守

法令・法規制の理解に努め遵守すると共に、北海道の「ゼロカーボン北海道推進条例」および札幌市の「環境保全行動計画」他、行政の取組に協力してまいります。

(4) 廃棄物の削減及びリサイクルを促進し、省資源・省エネルギー化を図り、またそれら環境に配慮した事業活動に取り組むことで地球温暖化、資源枯渇、環境汚染の低減及び環境保護に努めます。

・電力、各種燃料の使用量の削減

エコアクション 21 の取組みにより把握した各種エネルギーの使用量および廃棄物の排出量のデータを社内へ展開し共有しています。

エネルギー価格も上昇しており、これらのデータを生かすことで更に

削減に取り組んでいきます。SUBARU チーム全体の目標となる 2035 年度における“2016 年度比 60%削減”への取組みとして今年度から CO2 フリー電力を導入する事となり、長期的な CO2 の削減に繋げて参ります

・廃棄物の削減・リサイクルに取り組んでおり、徐々にリサイクル率が高くなっている店舗もあります。今後も廃棄物の適切な分別を推進し、排出量の削減に繋がります。

・SUBARU グループの取組みである「一つのいのちプロジェクト」による知床財団様のオフィシャルパートナーとしてパトロールカーの提供、森づくり活動への参画など協力して参ります。



(5) 当社の事業活動を継続する上で、発生しうる納期遅延・クレームに起因するエネルギーロスの削減を推進します。

・サービス部品部を中心にこれまで通り社内資格の取得に向けた研修や技術講習を企画、実施する

事により技術力・診断スキルの向上に努めます。同様にパーツの検索スキルの向上により、誤発注による不動部品・廃棄部品の発生を防止します。



(6) 全従業員に対し、この環境経営方針を周知し、環境意識向上のため、啓蒙活動を継続的にを行います。

・エコアクション 21 の活動と「北海道スバル SDGs 宣言」を通じ社会の一員として、SUBARU チームの一員として SDGs およびカーボンニュートラルの達成に向け取り組んでいきます。社内においても教育・訓練、ミーティングを通じ、販売・サービス・間接の全スタッフに対し環境意識の向上、啓蒙に努めて参ります。

2. 数値目標

上記 1 項の“環境経営方針に沿った取組み”と共に、2023 年度の各項目の実績に対しそれぞれ 1%削減を数値目標として取組みます。

* 電気使用量は長期的に下記の目標設定としております。

2024 年度～2030 年度：前年度比 1%削減

2031 年度～2035 年度：前年度比 0.5%削減

項目	単位	2022 年度目標	2023 年度目標	2024 年度目標	
電気使用量	kWh	2,014,870	2,068,836	2,059,638	
燃料	ガソリン	L	331,622	239,393	180,907
	灯油	L	148,844	154,747	183,042
	軽油	L	108,312	98,167	94,300
	LPG	kg	49,960	45,694	52,247
	都市ガス	m ³	421,156	399,468	378,045
二酸化炭素排出量	kg-CO2	3,639,920	3,381,639	3,271,981	
水使用量	m ³	16,034	15,269	14,223	
廃棄物(一廃・産廃)※1	t	1,040	1,053	453	
紙(コピー紙)使用量	kg	18,030	18,327	15,186	

①電気使用量削減、②燃料使用量削減、③水使用量削減、④廃棄物量削減、⑤紙使用量削減

※1 2023 年度目標より有価物の排出量を除く

3. 各店舗の取組み

各店舗における具体的な取組み内容は以下の通りです。

本 社	
本 社	<ul style="list-style-type: none"> これまで通り各種エネルギー、廃棄物の実績を店舗に展開していく。 各種環境関連の法令、規制などに改変があった場合、速やかに店舗に展開する。
営業第 2 部 (道央) エリア	
札幌西店 BP センター本社	<ul style="list-style-type: none"> 冷暖房設定温度の再徹底 (夏 27 度 / 冬 24 度) とショールームエアコンの間引き運転 事務所および工場の整理整頓による廃棄物削減 4 月より新たに導入された代車貸出時のガイドを活用し、代車の燃料満タン貸し出し・満タン返しの再徹底。 複合機導入にあわせて両面印刷再徹底と、WEB 上での情報共有徹底によるペーパーレス化・紙使用量削減
白石店 BP センター白石	<ul style="list-style-type: none"> 店舗および工場設備の適正使用 (業務プロセス見直しによる朝晩の残業時間圧縮→電気・ガス使用量の削減) 空調設定温度の適正化 (冷/暖房 : 24/26→26/24,各 2℃) ガソリン・灯油使用量削減 (営業用ガソリン検証・代車返却時の補給依頼・洗車有無確認の徹底)

月寒店	<ul style="list-style-type: none"> ・空調設定温度の適正化（冷房 26℃、暖房 24℃） ・不要照明の消灯および点灯時間の短縮 ・ガソリン使用量削減（サービス代車返却時のガソリン補給依頼） ・灯油使用量削減（洗車の有無確認、不要な洗車を無くす） ・工場内消耗品・事務用品・備品の削減
札幌北店	<ul style="list-style-type: none"> ・過度なエアコンの使用を控える、設定温度を適正に管理する。引続き代車の給油のお願いの徹底。代車の洗車は、汚れが軽微であれば窓だけ拭くなど洗車機の使用頻度を減らす。お客様の車の雨の日の洗車など確認のうえ unnecessary な洗車を無くす。 ・油漏洩時の緊急吸着マット等の位置見直し。
札幌南店	<p>化石燃料が値上がりしている中、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気使用量を、こまめな照明の ON-OFF や残業時間の削減で金額にして昨年と同等とする。 ・ガスの使用量を、エアコンの電源を出社後に入れることにより金額にして昨年度と同等とする。 ・お客様への最適な提案で、整備不良からくる環境負荷をなくしていく。
羊ヶ丘通清田店	<p>ショールーム・事務所・中古棟の温度管理をこまめに確認し、無理のない範囲で調整し電気代の削減に努めます、退勤時の戸締りチェック時に電気の消し忘れ・エアコンの消し忘れの撲滅を図ります、水出しっぱなしがない様店舗内（朝礼時等）で周知徹底を図る。冬期間についても無理のない範囲で暖房温度調整をこまめに管理し電気代を削減する、サービス代車に関しても、貸出時満タン給油貸出を続け、返却時に満タンでの返却以来の徹底をし、ガソリン使用量を管理、店舗内で外出の情報共有を徹底し無駄な外出の抑制を図りガソリン使用量を削減していきます。</p>
部品センター	<p>新車中古部品とそれぞれの別管理で運用していたが、新車中古は統一になり部品もあわせて同じ敷地内での共有部分もあるため情報共有して運用していく。事務所内のエアコン・暖房のこまめな運用管理。倉庫内冬場のこまめな暖房管理。昼、業務終了後、業務未使用時の電気の消灯、残業申告表を運用し無駄な残業を削減していく。棚卸制度向上にむけ循環棚卸の実施、部品検品の徹底、返品ルールの運用実施し不良部品・不動部品の撲滅をし産業廃棄物を削減。該当がある場合、アウトレット販売、中古・社用車で再活用をしていき削減につなげる。</p>
厚別店	<p>節約で可能な事は店舗全員で取り組むように意識が変化してきているので、これを継続することとアドバイスいただいたロスナイの 24 時間換気を営業終了後停止させることでさらなる節電が可能か検証する。</p>
カースポット厚別	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房の温度設定 冷房 27度 冬 25度 ・工場の照明間引き ・洗車機、コンプレッサーの電源を使用時以外オフにする
札幌東店	<ul style="list-style-type: none"> ・通年を通して冷暖房の空調は毎日室温のチェックと不要なスイッチは入れない。 ・代車、試乗車のガソリンはできるだけ最小限のレベルで給油する事とお客様に貸出の際は必ず使用分の給油のお願いを徹底する。 ・退社の際につけっぱなしになっていないかを確認。スタッフ全員がこの意識を高く持つように店長からの定期的な声かけを実施する。 ・ゴミの分別とゴミ袋はできるだけ圧縮して捨てるように心がける。 ・残業時間がにならない時間管理をしていく。

新千歳店 カースポット新千歳 新千歳 PDI 重整 備センター	<ul style="list-style-type: none"> ・引続き事務所・ショールーム・工場の温度管理の徹底と省エネの為にディスカッション実施。 ・除雪の効率を上げて大型ブルの燃料費削減。 ・ロスナイの管理、見直し。現在は 24 時間稼働。
小樽店	冷暖房の温度設定、燃料費の管理、照明など使用していない場所など細目なチェック
岩見沢店	<ul style="list-style-type: none"> ・空調設定や照明管理を小まめに行う。夏場はロールスクリーンうまく活用 ・試乗車・代車等の社用車のガソリン仕様の適正管理
G-PARK 札幌	<ul style="list-style-type: none"> ・使用していないエリアの消灯節電を心掛ける ・事務所退社時に全員で消灯チェックの励行

営業第一部（道北）エリア

旭川北彩都店	<ul style="list-style-type: none"> ・ロスナイの 2 4 時間換気を止め、退社時に切り、入社時に入れるようにし、節電に努める ・お客様への代車使用時のガソリン給油依頼の取組（10Km 当り 1L） ・5 S 活動 ・ロードヒーティングのこまめな ON・OFF
G-PARK 旭川	展示場、構内等 暗い箇所も多い為照明の見直しが必要ですが、照明のタイマー時間の月により細かい設定と昼休み等休憩時間、残業時も合わせて節電に取り組めます
名寄店	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別をきっちり行う。暖房やエアコンの入切、温度調節をこまめに行い、節電に努める。 ・Fine プリントや PDF を有効に使い、プリンタ用紙の削減に努める
北見店	効率を上げ残業を減らし電気暖房冷房の使用を減らす。
滝川店	冷暖房の温度設定、照明・水道蛇口等のチェック、ロールスクリーンの開閉等をこまめに行なって省エネに繋げる。燃料費も業務の効率化を図って経費節減を心掛ける。

営業第三部（道南）エリア

室蘭店	良い所は継続し、待機電力は極力抑える様に最終チェックを怠らず続けて行く。休日前の水道や電力は確実に点検する。代車等説明事項が増えているが丁寧にお伝えし理解を得られるように努める。
苫小牧店	エコアクションの取り組みを全員に理解を促し行動して行く事で更に改善出来ると考えます。
函館北浜店 BP センター北浜	<ul style="list-style-type: none"> ・バックオフィス等、可能な場所での電灯の間引き ・冷暖房設定温度の再徹底（夏 27 度 / 冬 24 度）
函館神山店	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての項目において、前年比と目標比を意識し削減につなげる。 ・スタッフが働きやすい環境を考えながらこまめな空調管理をおこなう。

【9】 代表者による全体の評価と見直し・指示

1年間の取り組みの結果、多くの店舗でCO₂排出量を削減することが出来た。やはり各店舗の取り組み・工夫がこのような実績に繋がっていると考えられる。店舗により規模や設備、エネルギー構成などが異なりそれぞれ強み・弱みがある。設備の特徴・性能を把握する事で効率的で適切な運用を心掛けCO₂排出量の削減を継続して欲しい。同時に我々の取り組みが気候変動や交通事故と言った社会課題の解決、貢献に繋がる事を理解し行動して欲しい。またカーボンニュートラル、SDGsの取り組みはクルマが欠かせない北海道では避けて通れない課題である。北海道スバルの本業への取り組み自体をカーボンニュートラル、SDGs活動にリンクさせなければならない。

環境方針・環境目標・推進体制及び環境経営システムの変更の必要性については、以下の通りである。

- ・環境方針の変更の必要性：なし
- ・環境目標の変更の必要性：なし
- ・推進体制及び環境経営システムの変更の必要性：なし



お客様やスタッフ、そして北海道スバルに関わるすべての人たちの笑顔北海道中にあふれさせたい。それが私たちの願いです。
もっと北海道スバルを好きになってもらうために、様々な取り組みを実施していきますので、ご期待ください。

HOKKAIDO SUBARU
北海道スバル株式会社

北海道スバル オフィシャルwebサイトはこちら

